

一般社団法人 盛岡青年会議所 2026年度

# ANNUAL REPORT





# 目次

盛岡青年会議所とは	04
盛岡青年会議所の歴史	05
2025年度理事長所信	06

## 組織力向上委員会

（ 会員拡大と理念浸透によって組織力を高め、永続的に発展し続ける組織となる ）

異業種交流会 成功を求める思考法とリーダーシップ力	09
仮会員オリエンテーション	10
卒業式	11

## 地域開発委員会

（ 市民に当事者意識を生む情報を発信し、まちの持続的な開発に向けて協働する ）

新年交賀会	13
もりおかの魅力向上会議	14
もりおかえきまえマルシェ	15
盛岡さんさ踊り練習会	16
第48回盛岡さんさ踊り	17

## 次世代育成委員会

（ 社会全体で子どもの豊かな心の育成に寄与し、明るい未来を創造する ）

次世代育成の理解を深めよう～より良い未来のために～	19
第37回わんぱく相撲盛岡場所	20
第7回わんぱく相撲女子全国大会の誘致	21
第40回わんぱく相撲男子全国大会の引率	22
第6回わんぱく相撲女子全国大会の引率	23

## 国際社会創造委員会

（ 国際社会を生きる一員として恒久的世界平和を実現する ）

羅東国際青年商會との姉妹JC交流	25
Touch the World ～笑顔の交流～	26
国際社会創造事業Ⅱ	27

出向者連絡会議	28
OB交流会	29
活動報告例会	30

2025年度 出向者名簿	31
2025年度入会者・卒業生	32
2025年度の歩み	34
2025年度 組織図	36
2026年度 入会案内／基本理念・基本方針	38
2026年度 組織図／会員名簿	40



笑顔が満ち溢れるもりおか

若い我ら

若い我ら



盛岡青年会議所とは

1949 年、明るい豊かな社会の実現を理想とし、責任感と情熱をもった青年有志による東京青年商工会議所（商工会議所法制定にともない青年会議所と改名）が設立され、日本青年会議所（JC）運動は始まりました。

共に向上し合い、社会に貢献しようという理念のもと、1953 年には盛岡青年会議所が国内で 38 番目に創設しました。また、各地に次々と青年会議所が誕生し、1951 年には全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所（日本 JC）が設けられました。

現在、全国に青年会議所があり、三つの信条（トレーニング「個人の修練」、サービス「社会への奉仕」、フレンドシップ「世界を結ぶ友情」）のもと、よりよい社会づくりをめざし、地域の社会課題解決に積極的に取り組んでいます。さらに、国際青年会議所（JCI）のメンバーとして各国の青年会議所と連携し、世界を舞台としてさまざまな活動を展開しています。

盛岡青年会議所の特徴

青年会議所には、品格のある青年であれば個人の意思によって入会できますが、盛岡青年会議所では 20 歳から 40 歳までという年齢制限を設けています。（ただし入会資格は満 20 歳から 39 歳まで）

これは青年会議所が、青年の真剣な情熱を結集し社会に貢献することを目的に組織された、青年のための団体だからです。会員は 40 歳を超えると現役を退かなければなりません。この年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっています。

各青年会議所の理事長をはじめ、すべての任期は 1 年に限られています。会員は 1 年ごとにさまざまな役職を経験することで、豊富な実践経験を積むことができ、自己修練の成果を個々の活動に展開しています。

青年会議所におけるさまざまな実践トレーニングを経験した活動範囲は幅広く、OB も含め各界で社会に貢献しています。卒業後は、地方公共団体の長、議員、社業などそれぞれの立場で地域のリーダーとしても活躍中です。

団体概要

団体名	一般社団法人盛岡青年会議所
創立年月日	1953（昭和 28）年 2 月 2 日
社団法人格取得年	1971（昭和 46）年
一般社団法人移行年	2011（平成 23）年 11 月 1 日
事務所所在地	〒020-0024 盛岡市菜園二丁目 6-6 スクエアテラス盛岡ビル 3F
連絡先	TEL：019-651-3778 FAX：019-654-4476
正会員数	57 名（令和 7 年 12 月 31 日現在）
事業年度	1 月 1 日から 12 月 31 日

盛岡青年会議所の歴史

1951年	日本青年会議所 創立
1953年	盛岡青年会議所創立（2 月 2 日）
1955年	第 2 回日本青年会議所東北地区大会
1962年	産業会館ホール 盛岡 JC 10 周年記念大会
1966年	盛岡開催 2 回目の東北地区大会開催、防犯パトロールが優秀 JC 賞を受賞
1967年	盛岡 JC 15 周年記念式典開催
1968年	台湾、宜蘭 JC に姉妹締結へ向けた訪問団を送る
1971年	社団法人化する「社団法人・盛岡青年会議所」として再発足
1972年	盛岡 JC 創立 20 周年記念式典 9 月 15 日
1974年	会員数が 100 名を超える
1975年	盛岡 JC 主管 第 23 回東北地区会員大会を開催
1978年	盛岡川祭り
1979年	羅東 JC 来盛 姉妹 JC 締結調印式
1981年	環境整備推進賞で最優秀賞を獲得
1982年	盛岡 JC 創立 30 周年
1983年	盛岡さんさ踊り・山車 盛岡夏まつり 初めて花山車を製造し参加
1983年	盛岡 JC 活性化への道 100% 例会開催
1985年	「盛岡夏まつり」から「さんさ踊り」へ名称変更 花車 2 台に増台 中央通りに事務局移転
1986年	東北地区において全国大会誘致が盛岡と決定
1988年	わんぱく相撲盛岡場所 初開催
1989年	菜園樋下第一ビルへ移転
1990年	東北地区協議会会長に藤村文昭氏就任
1991年	1994 年度第 43 回全国会員大会主管が盛岡に決定
1992年	創立 40 周年記念式典
1994年	第 43 回全国会員大会 盛岡開催
1997年	創立 45 周年記念事業開催
2000年	こどもエコ・フェスティバル開催
2001年	岩手ブロック協議会会員大会盛岡大会開催
2002年	創立 50 周年記念式典
2002年	盛岡 JC NEXT50 宣言
2003年	羅東国際青年商會姉妹締結 35 周年式典
2004年	がんばれ盛岡 2004 開催
2005年	JABAS 2005 開催
2006年	のっばさん講演会
2007年	第 20 回国際アカデミー in もりおか／創立 55 周年記念祝賀会
2008年	羅東 JC 姉妹締結 40 周年記念訪問
2009年	もりおか JC フェスティバル／日露交流事業
2010年	麻生太郎先輩特別記念講演会／NEXPO MORIOKA 2010
2011年	災害復興支援／NEXPO MORIOKA 2011
2012年	創立 60 周年記念事業 みらい便 ～ 10 年後のわたしへの手紙～
2013年	岩手ブロック大会 in 盛岡／日ロ友好事業赤の広場盛岡さんさ踊り派遣事業
2014年	和太鼓同時演奏世界記録達成（盛岡さんさ踊り関連）
2015年	NEXPO MORIOKA 2015
2016年	第 1 回 JC カップ U-11 少年少女サッカー盛岡フェスティバル
2017年	創立 65 周年記念式典／もりおか まちラン 2017
2018年	羅東国際青年商會姉妹締結 50 周年記念事業「KAKEHASHI」
2019年	KAKEHASHI（台湾中学生受け入れ事業）
2020年	盛岡さんさ踊り 2020 with コロナバージョン／マリ共和国学校建設プロジェクト
2021年	オンラインによる羅東国際青年商會との経済文化交流会議
2022年	創立 70 周年記念事業～マリ共和国助産所建設プロジェクト～
2023年	羅東国際青年商會 姉妹締結 55 周年式典／もりおか SDGs フェスタ
2024年	C-NEXPO 2024 開催／第 6 回わんぱく相撲女子全国大会誘致活動
2025年	第 7 回わんぱく相撲女子全国大会誘致活動／もりおかえきまえマルシェ（9 月事業）



## 2025年度 理事長所信



一般社団法人 盛岡青年会議所  
第73代理事長 松浦 直人

凍てつく冷気に包まれた幻想的で荘厳な銀世界、雪嶺がひとの営みを眺める  
雪解け水が生命の息吹を運ぶ、桜や新緑の色に染まる様は春を告げる魔法のよう  
青い穂が風になびき、蟬の声に呼応するように聞こえる群衆の声と太鼓の音色  
錦秋の景色に金色の大地、澄み渡る空はどこまでも高く

極彩色で風光明媚なまち、もりおか  
このまちに生きるひとは厳しくも優しくかった

7年前、もりおかに移り住んだ私は新しいことに挑戦する希望をもつ一方で、何か落ち着かない心持ちであった。故郷にいた両親や旧友、前職で苦楽を共にした同僚と物理的なつながりが薄くなる不安から、これから先の人生で親しくなれる友人は果たしてできるのだろうかと将来に漠然とした空虚感をもっていたのだ。しかし、そんな不安はすぐに解消されたのだった。転居して間もなく盛岡青年会議所に入会した私は、多くの仲間と出会い喜びと感動を分かち合った。青年会議所での活動を通じてもりおかの歴史や文化への好奇心をもち、もりおかで異彩を放つひととの出会いによって何事にも挑戦してこうとする向上心が大きくなっていった。もりおかに生きるひとは、私がこのまちで生きていくことと青年会議所の会員として活動することに、それぞれの場面で時に厳しく、時に優しく支え続けてくれた。私はひととの出会いやつながりによって心が豊かになっていくことを実感した。他者を尊重する温かい心と思いやりのある行動に感謝の念を抱き、ひとの縁を感じることでもりおかのことを大好きになっていった。

私が大好きになったもりおかは、住み暮らす市民一人ひとりによって形成されている。まちの歴史はひとの縁によって過去から現在、そして未来へ連綿となっている。心を豊かにしてくれたもりおかへの感謝の気持ちから、まちをより良くして次代へ引き継いでいく意志が生まれ、使命感となり、今の私の行動へとつながっている。まちから、ひとからいただいたものを、もりおかに生きるひとが前向きな気持ちになるよう役立てたい。そして、私はもりおかに心から恩返しをしたい。

広大な地球において、環境や気候は土地によって異なり、その土地で生きていく人々の信じるものや秩序もまた異なる。ひとは他者との違いを受け入れ平和的に交流をすることで豊かさ享受してきた。そして、誰かのために行動を起こすことができる。しかし、時に心の貧しさから他者を顧みない行動をも起こす。それは物質的な貧しさ故か、はたまた社会から孤立し心のつながりを感じられないからなのか。自分自身の正当性ばかり振りかざすような行き過ぎる主張は他者を傷つけ、争いを生んでいる。その争いによってひとは哀しみ、怒り、その感情からまた誰かを傷つける負の連鎖が生まれているのだ。そして、負の連鎖に巻き込まれ社会から孤立しているひとが存在する。私たちはこれまでの歴史の中で、身近にいるひとに起きた不幸な出来事や遠く知らない土地に起きた有事や災害に、当事者の幸せを願い、助けの手を差し伸べることができた。

世界各国で起きている紛争やいじめ、差別など事の大小は関係ない。世界に生きる一人ひとりが一視同仁の心をもち、他者を思いやる行動によって負の連鎖を断ち切ることができれば、自分にとって身近な社会を、ひいては国際社会を安寧に導くことができる。

私が信じる「明るい豊かな社会」とは、ひとの縁がもたらす思いやりに笑顔が満ち溢れる社会である。現在、もりおかでは人口減少から経済や福祉に停滞感を覚える人が多く、ひとの心には自分の将来やまちの未来に対する漠然とした不安がまん延している。この不安を取り除き、豊かさを実感するためには、もりおかの政治や経済、そして文化を活性化させる必要がある。社会は自分自身と他者がいて、つながりをもつことで成り立つ。ひとは他者からの思いやりのある行動によって心を豊かにする。そして、豊かな心によって他者への感謝と社会に対する希望を見だし、「明るい豊かな社会」に向けての前向きな行動を発現させる。その行動に他の誰かが感銘を受け、意志を受け継いでいく。まちをより良くしていくこうとする意志は過去から連綿と続く歴史の如く、ひとのつながりと思いやりのある行動によってまた誰かの心に紡がれる。市民一人ひとりが物質的な豊かさのみだけではなく、心の豊かさを実感することで、まちが笑顔で満ち溢れる。未来を明るいものにするためには、市民一人ひとりが自分自身の考えを大切にしつつまち全体の事も考え、社会参画することが必要となるのだ。だからこそ、私たちがひとの縁を大切に、もりおかの未来をより良く変化させようと行動し続けなければならない。

盛岡青年会議所は今年で73年の歴史を紡ぐ。現在の私たちは、過去から受け継がれてきた「明るい豊かな社会」の実現に向けて挑戦し続けた先輩方の意志、そのものなのだ。その意志に私たちの想いを乗せ、より良い変化を加えて次代へと紡いでいく責務がある。私たちは盛岡青年会議所の会員であり、もりおかに深いつながりをもつ個人である。だからこそ、自分自身の手でもりおかの未来を創っていくのだ、ひと事などではない。まだ見ぬ景色や世界に足を一歩踏み出して、能動的に挑戦し続ける勇気を奮い立たせよう。あなたが入会を決めた覚悟も勇気のある一歩なのだから、尻込みなんかしなくなつて良い、きっと大丈夫。そして隣には常に仲間がいる。志を同じくする仲間はあなたにとっての助けとなってくれる。だからこそ挑戦し続けることができ、あなたの挑戦は発展と成長の機会となる。家族や仲間を大切に思いながら、覚悟を

もち自己を変革し続けよう。過去を知り、そして今、もりおかの未来を変えられるのは私たちだ。

### 会員拡大と理念浸透によって組織力を高め、 永続的に発展し続ける組織となる

会員拡大は、多様な価値観をもつひととの関わりを増やし他者の意思を尊重する契機、つまり心を豊かにする足掛かりとなる。青年会議所は4つの機会を通じて会員に自己成長を促しまちの発展に寄与してきた。改めて会員一人ひとりが、機会に対する重要性和挑戦する意義を理解し、仲間を増やす意欲を高め、一丸となって会員拡大を推進する。多様な価値観や経験、スキルをもつ多くの仲間が助け合い、切磋琢磨しながら成長することで、より力強い市民意識変革運動を展開し続けられるのだ。そして、会員一人ひとりが青年会議所の理念へ共感することは、組織に対するエンゲージメントと活動への内発的動機付けを高め、組織力の強化につながる。また、モチベーションやパフォーマンスの向上に良い影響をもたらす。自分自身の役割と責務への理解も深まることから、リーダーシップの開発にも寄与する。私たちはまちにより良い影響を与える人材を増やし、これからも市民から必要とされる盛岡青年会議所へと組織を発展させ続ける。会員拡大と理念浸透によって組織力を高め、永続的に発展し続ける組織となるのだ。

### 市民に当事者意識を生む情報を発信し、 まちの持続的な開発に向けて協働する

まちが有する地域資源を組み合わせながら最大限活かすことは、地域経済を活性化させるだけでなく文化振興の役割も果たし、まちを持続的に発展させる。同時に、住み暮らす人々にまちへの愛着や誇りをもたらす、まちづくりへ前向きな気持ちにさせる。まちづくりへの前向きな気持ちは、住み暮らすまちの在りたい姿を見いだすからこそ発現し、市民の地域活動に対する参加意欲を高める。また、地域活動へ参加することは市民にまちづくりへの当事者意識を生み、市民同士のコミュニケーションが促進され、他者と協働の輪が広がる。だからこそ、私たちは市民へ盛岡青年会議所の活動内容を周知し、展開する運動への共感を呼び、住み暮らすまちの明るい未来の理想像を市民と共に思い描くのだ。そして、私たちはもりおかに住み暮らす青年経済人としてシビックプライドをもち、多くの市民とつながったコミュニティのちからを結集し、地域資源を利活用したまちの持続的な開発に挑む。市民に当事者意識を生む情報を発信し、まちの持続的な開発に向けて協働するのだ。

### 社会全体で子どもの豊かな心の育成に寄与し、 明るい未来を創造する

子どもは自分自身の行動や他者との関りによって自己有用感と自己肯定感を高めることができる。子どもの価値観は家族や社会とのつながり、教育や文化、そして経験に影響を受けながら形成されるからだ。自己有用感を高めることで他者を思いやる気持ちや感謝の気持ちが芽生え、また自己肯定感を高めることで自分自身にとって新しいことや困難なことに対して失敗を恐れず挑戦する気持ちももてる。つまり、高い人間性を身に付けることができるのだ。次代を担う子どもはまちの未

来にとって財産である。だからこそ、社会全体で子どもが心身ともに健やかに成長できるよう支えていかなければならない。私たちは子どもを取り巻く社会の一員として、周囲の大人と共に一丸となって子どもの豊かな心を育み、子どもが描く夢の実現に向けて挑戦する機会を創出する。また、私たちは多くの市民に次世代育成の意義を伝え、青年会議所の起こす運動に共感し協働するステークホルダーを増やしていく。明るい未来の創造のために、子どもも大人も挑戦できる環境を市民と共に整えていくのだ。社会全体で子どもの豊かな心の育成に寄与し、明るい未来を創造するのだ。

### 国際社会を生きる一員として、 恒久的世界平和を実現する

国際社会は世界中の国々や地域に住み暮らす一人ひとりによって形成されている。そして、もりおかに生きる人々が国際社会を構成する一員であることは普遍的な事実である。現在、多くの国や地域、企業や団体が国際的な問題を包括的に解決するために、あらゆる側面から支援を行っている。加えて、市民が国際的な問題の多様さと複雑さを認識するとともに個人でも問題の解決に向けてできることを模索し、思いやりの心をもった行動を起こすことで恒久的世界平和の実現へ近づくことができる。だからこそ、私たちは盛岡青年会議所の会員として、率先して恒久的世界平和の実現を目指した行動を起こしていかなければならない。羅東国際青年商會との長きに亘る民間外交で築いた友情と信頼関係は、国際感覚を身に付け研ぎ澄ます一助となっている。混沌とする現代において、私たちは今一度、国際社会における民間外交の意義と重要性を理解する必要がある。その上で、政府間交流だけでは成し得ない、国や人種を超越した友情を育み続けていく。民間外交の経験によって得た知見を基に、国際社会を生きる一員として、恒久的世界平和を実現するのだ。

### 《未来構想特別委員会》

盛岡青年会議所は過去から現在に至るまで、より良く運動を展開するべく組織を変革してきた。私たちは諸先輩方の想いを受け継ぎ、継続事業への取り組み方や将来に亘って持続可能な組織運営の方法などを検討し、組織をより良く発展させていく必要がある。本年度は、特別会計に関する基準や規程、運用方法を中心に議論し、数年先においても力強く運動を展開していくため盛岡青年会議所がどう在るべきかを考える。

### 《出向者支援》

青年会議所は、国際組織として「個人の修練」「社会への奉仕」「世界との友情」の三信条のもと、青年が社会により良い変化をもたらすためのリーダーシップの開発と成長の機会を提供をしている。盛岡青年会議所は毎年多くの出向者を輩出している。出向者が出向先の会議体で得た学びと知見を盛岡青年会議所にフィードバックすることは、会員の資質向上と組織の活性化につながるから、盛岡青年会議所にとって貴重な財産となる。出向者の活動を全会員が認知できるよう発信し、盛岡青年会議所の運動の価値を更に高める。



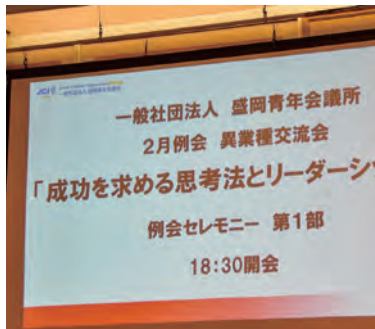
# 組織力向上委員会

会員拡大と理念浸透によって組織力を高め、  
永続的に発展し続ける組織となる



まちにインパクトを与え続けられる  
組織となることを目指す！

多様な価値観を尊重しながらも、方向性を一つにして活動することを意識し、メンバーだけでなくより多くの方々を巻き込みながら、異業種交流会、仮会員オリエンテーション、卒業式などを行いました。



2月  
例会

## 異業種交流会 成功を求める思考法とリーダーシップ力

会員拡大および盛岡広域圏で活躍する青年経済人との交流促進を目的として、2月28日(金)、盛岡グランドホテルにて「2月例会 異業種交流会」を開催しました。今回は外部講師として竹之内教博氏をお招きし、「成功を求める思考法とリーダーシップ力」をテーマにご講演いただきました。参加者にとって、自身の思考や行動を見直す学びと気づきの機会となりました。講演後の懇親会では、盛岡青年会議所メンバーと一般参加者が名刺交換や意見交換を通じて活発に交流し、盛岡青年会議所の活動への理解と関心を深めていただくことができました。本事業は、新たな青年経済人との出会いの場を創出するとともに、会員拡大の重要性を共有する有意義な機会となり、今後の組織力向上と運動の活性化に寄与する成果を得ることができました。



7月  
例会

## 仮会員オリエンテーション

盛岡青年会議所の活動への理解促進と参加意欲向上を目的として、7月14日(月)、クイーンズフォントにて「第2回仮会員オリエンテーション」を開催しました。当日は、歴代理事長および歴代専務理事を講師としてお迎えし、青年会議所が大切にしている理念や活動の価値について、対談形式でご講演いただきました。参加した仮会員にとって、青年会議所の目的や役割を体系的に理解する貴重な学びの機会となりました。また、講演後には正会員との懇親会やクイズ企画を実施し、和やかな雰囲気の中で交流を深めることができました。参加者アンケートでは、「活動意欲が高まった」との声が多く寄せられ、参加者同士の相互理解と一体感の醸成にもつながりました。本事業は、青年会議所活動の意義を共有するとともに、今後の運動の推進と会員の成長に寄与する有意義な取り組みとなりました。

12月  
例会

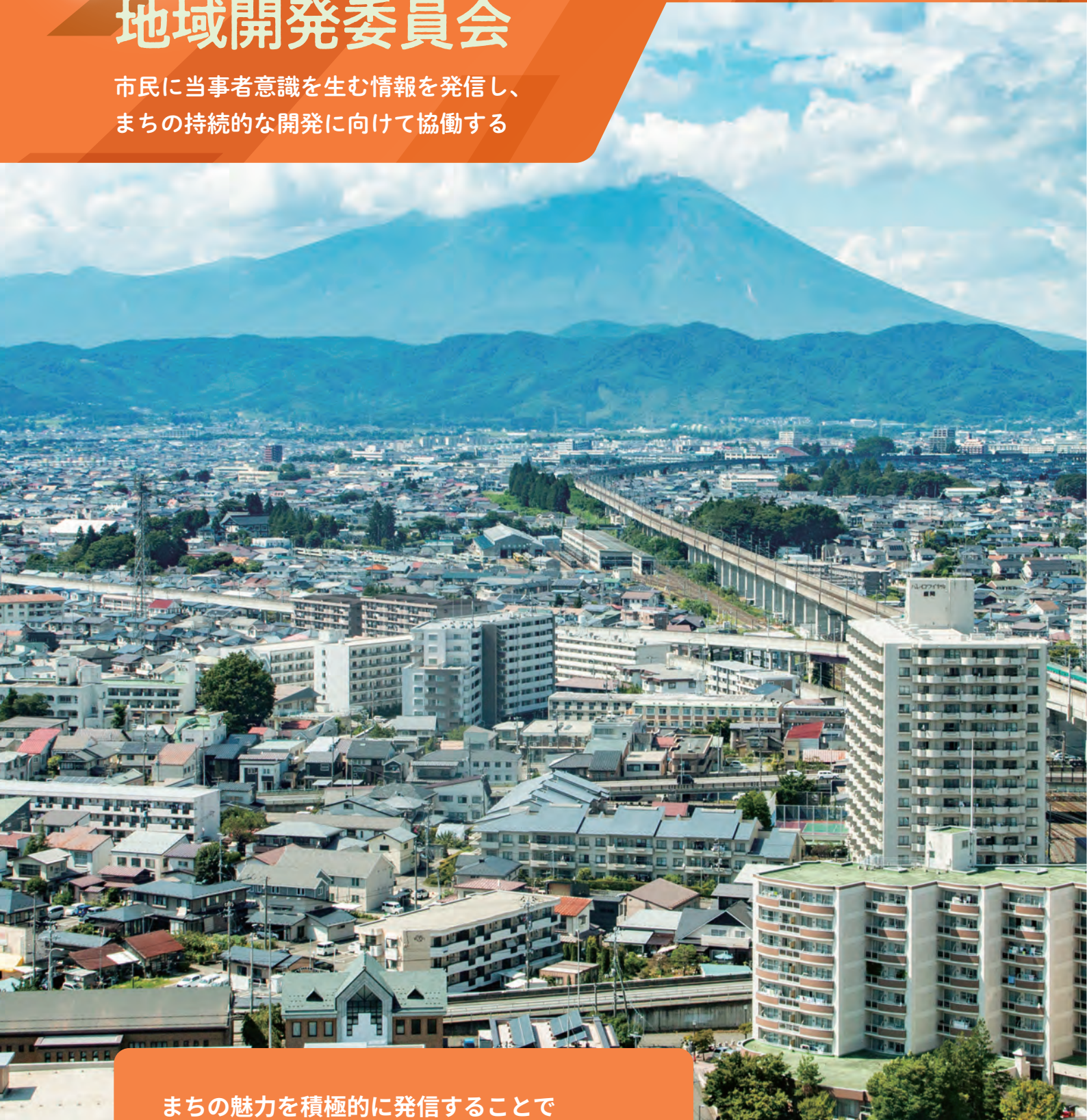
## 卒業式

2025年12月6日(土)、盛岡グランドホテルにて「12月例会 卒業式『樺〜想いを未来へつなぐ〜』」を開催しました。本事業は、長年にわたり情熱を注いだ12名の卒業生の歩みに感謝するとともに、その志を現役会員が受け継ぐ場として企画されたものです。当日は、現役会員・特別会員など計72名が参加。式典では卒業証書授与やスピーチが行われ、懇親会では卒業生による企画を通じて心温まる時間を共有しました。卒業生から受け継いだ経験と想いは、まさに未来へ繋ぐ「樺」となり、現役会員の主体性や活動意欲を高める契機となりました。本事業は、青年会議所運動の意義を再確認し、今後の組織力向上と運動の活性化に寄与する成果となりました。



# 地域開発委員会

市民に当事者意識を生む情報を発信し、  
まちの持続的な開発に向けて協働する



まちの魅力を積極的に発信することで  
知名度や魅力度を高め、  
もりおかに関わりをもつ人々を増やす！

地域資源の価値を市民と一体となって磨き上げながら、  
その魅力を発信していくために、盛岡さんさ踊り、もり  
おかえきまえマルシェをはじめとする様々な事業を行いました。



1月  
例会

## 新年交賀会

2025年1月11日、「一視同仁 ～笑顔が満ち溢れるもりおか～」をスローガンに掲げ、新年交賀会を開催しました。当日は、来賓や関係諸団体、各地青年会議所会員、特別会員など多くの皆様にご臨席いただきました。新年度理事長所信と年間事業計画の発表を行い、これまでのご支援への感謝と今後の協力をお願いする機会となりました。懇親会では、岩手大学さんさ踊り実行委員会による演舞や、菜園調理師専門学校による地元食材を使った焼売とスイーツの振る舞いが行われ、盛岡の魅力発信にもつながりました。盛岡青年会議所は今後も時代に先駆けた運動を展開し、明るい豊かな社会の実現を目指してまいります。

組織力向上委員会



地域開発委員会

次世代育成委員会

国際社会創造委員会





4月  
例会

## もりおかの魅力向上会議

地域の人口減少への理解を深め、関係人口の増加による地域振興を目的に「もりおかの魅力向上会議」を実施しました。セミナーでは岩手県政策企画課より、もりおか広域圏の人口減少の現状と課題について講演をいただき、参加者の理解を深めました。パネルディスカッションでは盛岡市、矢巾町、岩手町の職員が各地域の取組や課題対応を紹介し、情報共有を図りました。グループディスカッションでは、9月実施予定の地域振興事業に向け、特産品を活用した地域の魅力発信方法について活発に意見交換を行いました。今回の会議を通じ、人口減少への理解促進と地域振興への意欲向上が図られました。

9月  
事業

## もりおかえきまえマルシェ

盛岡駅前滝の広場にて「もりおかえきまえマルシェ」を開催しました。本事業は、盛岡広域圏の持続的な発展と地域への愛着を深めることを目的に、盛岡市・矢巾町・紫波町・岩手町の共催、ならびに地元飲食店の協力のもと実施されました。当日は、市内外から多くの方にご来場いただき、各自治体の特産品ブースでは、生産者や担当者の話に熱心に耳を傾けていただきました。また、盛岡市内の飲食店ブースも大変な賑わいを見せました。今回の事業で培われた自治体間の連携と地域の方々との交流を今後の活動に活かし、盛岡広域圏のさらなる発展に取り組んでまいります。

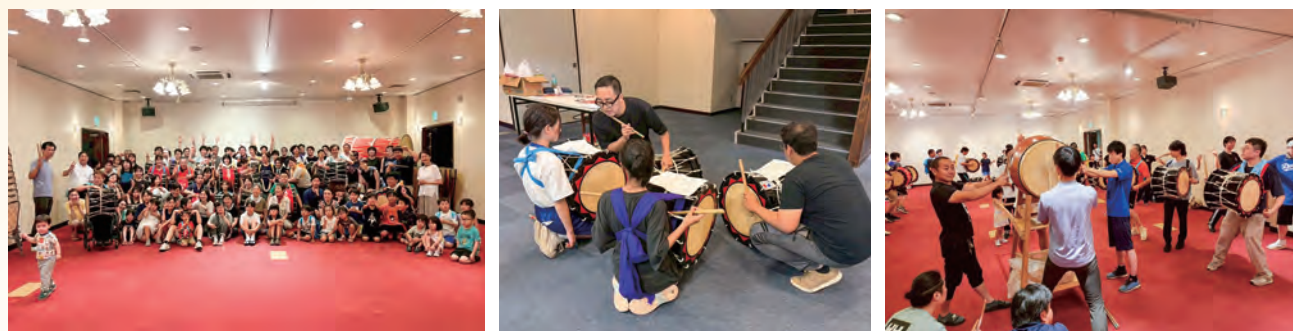
組織力向上委員会

地域開発委員会

次世代育成委員会

国際社会創造委員会





6~7月

## 盛岡さんさ踊り練習会

「盛岡さんさ踊り」をさらに盛り上げることを目的に、6月19日(木)から7月25日(金)までの計7回、一般市民の方へ参加者を募り、盛岡八幡宮にて「盛岡さんさ踊り練習会」を開催しました。

練習会では、歴代ミスさんさによる演舞指導のもと、踊り・太鼓・笛の各パート練習や、隊列を組んだ全体練習を実施しました。事前予約は不要で、どなたでも自由に参加できる形式としたことで、多くの市民の方々にご参加いただきました。

最終日の7月25日(金)には、参加者への感謝を込めてアイスとかき氷を振る舞い、参加者同士の交流も深まりました。今回の練習会を通じて、地域の一体感が高まり、盛岡さんさ踊り本番に向けた機運の醸成につながりました。

8月  
例会

## 第48回盛岡さんさ踊り

8月1日から4日にかけて第48回盛岡さんさ踊りが開催され、盛岡青年会議所は主催団体の一つとして、市民の皆様が自由に参加できるパレードおよび輪踊りの運営を行いました。連日の猛暑にもかかわらず多くの方々にご参加いただき、まち全体が一体となる盛岡の活気を感じることができました。「来て、見て、魅せられ、加わるさんさ」のコンセプトのもと、観客と踊り手が一体となって盛り上がる様子から、盛岡さんさ踊りの持つ魅力の素晴らしさを改めて実感しました。盛岡青年会議所は、この伝統ある祭りを次世代へ継承し、誰もが住み続けたいと思える魅力あふれるまち「もりおか」の実現に向け、今後も活動を続けてまいります。



# 次世代育成委員会

社会全体で子どもの豊かな心の育成に寄与し、  
明るい未来を創造する



社会全体で子どもが明るい未来を描けるよう支援し、自らの可能性を発揮できる機会を作る！

子どもたちが周りの役に立っていることを実感することで、子どもの豊かな心が育まれることを私たち大人が理解することを目的にして、第37回わんぱく相撲盛岡場所やわんぱく相撲女子全国誘致、わんぱく相撲全国大会への引率をはじめとする様々な事業を行いました。



3月  
例会

## 次世代育成の理解を深めよう ～より良い未来のために～

本事業は、地域社会全体で子どもたちの健全な成長を支援するため、次世代育成に関する理解を深めることを目的として実施いたしました。3月例会では、次世代育成の意義や重要性についてのセミナーおよびグループワークを行い、参加者が自己肯定感や自己有用感の重要性を再認識する機会となりました。また、子どもたちへのインタビューを実施し、大人と子どもの意識の差を具体的に把握することで、より現実的な学びを得ることができました。

事業後は半年間にわたり継続検証を行い、子どもたちの意識や行動が「自分中心」から「他者への思いやり」へと変化していく様子が確認されました。この結果は、大人の声掛けや関わり方が子どもの成長に大きな影響を与えることを示すものです。参加者アンケートにおいても、次世代育成への理解向上や今後の事業への主体的な参加意識の高まりが示され、本事業は目的を十分に達成できたと考えております。



6月  
例会

## 第37回わんぱく相撲盛岡場所

本年度の「第37回わんぱく相撲盛岡場所」は、2025年6月8日に岩手県営武道館相撲場にて開催し、子どもたちの健全な育成を目的として実施いたしました。本事業では、相撲という伝統文化を通じて、挑戦する心や礼儀と思いやりの精神を育む機会の提供に努めました。当日は小学生69名をはじめ、多くの保護者・関係者の皆様にご参加いただき、真剣に取り組む姿勢や互いを称え合う場面が多く見られ、目的の達成を実感することができました。また、相撲教室では専門講師による実践的な指導を行い、子どもたちが自分の課題と向き合う貴重な機会となりました。さらに、ライブ配信を行うことで、来場できない方にも大会の様子を届けることができました。運営面では会場設営や駐車場混雑など課題もありましたが、協力団体の支援を得ながら無事に終了することができました。

今後も地域全体で子どもたちの成長を支える取り組みを継続してまいります。

4月事業  
わんぱく相撲  
誘致

## 第7回わんぱく相撲女子全国大会の誘致

本年度は、わんぱく相撲女子全国大会の誘致活動を実施いたしました。本事業は、子どもたちが夢に向かって挑戦できる環境を整え、地域全体でその成長を支える体制づくりを目的として取り組んだものです。1月の審査書類公開から4月の立候補 LOM プレゼンテーションまで、多くのメンバーが協力し、資料作成やPR動画撮影、Zoomでのリハーサルなど、限られた予算の中で最大限の準備を行いました。当日は理事長挨拶や地域の魅力紹介、子どもたちの想いを伝える動画を組み合わせ、盛岡青年会議所としての熱意を十分に伝えることができましたと感じております。結果として誘致には至りませんでしたが、子どもたちの育成支援の重要性をメンバー全体で再認識する機会となり、次年度以降の挑戦に向けた学びも多く得られました。今後も地域との連携を深め、より良い準備体制の構築に努めながら、子どもたちが明るい未来を描ける環境づくりに寄与してまいります。





## 8月事業 わんぱく相撲 第40回わんぱく相撲男子全国大会の引率

子どもたちが果敢に挑戦できる機会を提供すると共に、子どもたちが夢や目標に向かって挑戦することの重要性を大人が理解する機会を創出するために、わんぱく相撲男子全国大会への引率を行いました。

今年度も岩手県予選を勝ち抜いた小学4年生から6年生の代表選手が全国大会に出場しました。また、大会本番を迎える前には、春日山親方の講話を聞いたり、実技指導を受けたりと充実した時間を過ごしました。

結果が振るわなかった選手もいると思いますが、すべての岩手代表選手が自分で決めた目標に挑戦することができましたし、引率したメンバーや保護者は、育成支援を継続して行うことの重要性を理解することができました。

## 9月事業 わんぱく相撲 第6回わんぱく相撲女子全国大会の引率

本年度は、第6回わんぱく相撲女子全国大会(青森県八戸市)に、盛岡場所を勝ち抜いた小学4～6年生の代表選手3名を引率し、参加いたしました。本事業は、子どもたちが自ら定めた目標に向かって挑戦する機会を提供するとともに、大人が次世代育成の重要性を再認識することを目的として実施したものです。大会前日は会場下見や最終練習を行い、当日は各学年の取組が進む中、選手たちは日頃の鍛錬の成果を発揮し、4年生・6年生がベスト16、5年生が第3位、団体戦第3位と立派な成績を収めました。また、多くのメンバーが応援に駆けつけ、一体感のある雰囲気の中で選手たちの背中を押すことができました。保護者・指導者への連絡や移動手配、動画撮影など多岐にわたる準備を進めたことで、スムーズな運営が実現できたと感じております。

本事業を通じ、子どもたちの挑戦する姿から大人が多くの学びを得るとともに、次世代育成の大切さを改めて実感する機会となりました。今後も継続的な育成支援に努めてまいります。



# 国際社会創造委員会

国際社会を生きる一員として  
恒久的世界平和を実現する



一人ひとりが国や地域、  
人種や性別などの属性に捉われず  
多様な価値観を受け入れ共に歩いていく！

国際交流を通じて多様な価値観を身につけ、共に歩いていくことを目的に、羅東国際青年商會との姉妹JC交流を行うとともに、さまざまな方法で在留外国人などの方々と交流を行いました。



6月  
事業

## 羅東国際青年商會との姉妹JC交流

今年で57年目を迎える羅東国際青年商會との姉妹JC交流が、3泊4日で行われました。先輩たちが築いてきた歴史と友情をしっかりと次代へつなぐために、最高のおもてなしをしました。恒久的世界平和の実現へ向けて、まずは民間から信頼関係を築いていくことが、とても大きな役割を果たします。交流の中では現役主催歓迎会、シニア主催歓迎会の各種歓迎会から始まり、1年間のお互いの活動報告をする経済文化交流会議、そして今年度はアクティビティとしてバスケットボールやドッジボール等のスポーツ大会を行いました。日本の四季に触れながらサウナ文化も楽しんでいただきました。言語の異なる相手と積極的に交流をし、より一層互いの絆を深める交流になりました。





組織力向上委員会

地域開発委員会

次世代育成委員会

国際社会創造委員会

5月  
例会

## Touch the World ～笑顔の交流～

岩手大学の留学生をお招きし国際交流事業を開催しました。多文化共生社会では多様な価値観を受け入れ、共に歩んでいく必要があります。まずは留学生と打ち解けるためにロールプレイングゲームを行いました。第1部では日本語禁止の連想ゲームを行い、自分のコミュニケーションレベルを知っていただきました。第2部では、こちらが選定したテーマに沿ってグループディスカッションをしていただきました。留学生の母国の文化や生活様式などを紹介してもらい、日本に来た理由や日本の文化の好きなところ、好きな食べ物などさまざまな意見交換をし、多様な価値観を身につけていただきました。

最後には国際交流がなぜ必要なのかを学んでいただき、とても有意義な交流になりました。

10月  
例会

## 国際社会創造事業Ⅱ

実践的な交流ができる体験型の国際交流として、当初は外国人と楽しむ松茸狩りを企画していましたが、昨今の熊の出没の多さからやむを得ず中止となってしまいました。

そこでビッグルーフにてサブプランでの開催となりました。第1部では国際交流の重要性についてのセミナーを行い、国際交流から生まれる6つのメリットを紹介しました。

第2部ではフィンランド発祥のモルックというスポーツを通し交流していただきました。国際交流がこういった身近なところからできるんだというのを伝え、国際交流のハードルを一步下げられたと感じております。また最後には叶わなかった松茸を無料で振る舞い、みなさんに喜んでいただくこともできました。



9月  
例会

## 出向者連絡会議

本年度の出向者連絡会議は、盛岡グランドホテルにて開催いたしました。当日は例会セレモニーに続き、出向者によるパネルディスカッション方式の報告を行い、出向先で得た学びや経験を会員全体で共有する機会といたしました。パネルディスカッションでは、岩手ブロック協議会および日本青年会議所・東北地区協議会の2つのグループに分かれ、活動内容や学びについて多角的な視点から発表していただきました。アンケート結果からは、多くの会員が新たな気づきを得ることができました。

また、今年度の工夫として飲食を伴う形式を取り入れました。今後もより効果的な報告会となるよう工夫が必要であると考えております。来年度以降も会員の出向意欲を高め、組織全体の学びにつながる運営を目指してまいります。

10月  
事業

## OB交流会

盛岡グランドホテルにてOB交流会を開催いたしました。本事業は、盛岡青年会議所が創立以来積み重ねてきた歴史と伝統を再認識し、特別会員と現役メンバーとの交流を通じて、今後の運動の活性化につなげることを目的として実施したものです。当日は特別会員30名、現役会員30名の計60名が参加し、オートムセミナーに続いて交流会を行いました。開会後は理事長挨拶、特別会員紹介、乾杯、新入会員紹介、次年度役員紹介へと進み、その後の歓談では世代を超えて多くの意見交換が行われました。

今回の交流を通じ、先輩方の想いを受け継ぎ、今後の運動へつなげていく重要性を改めて認識する機会となりました。





11月  
例会

活動報告例会

盛岡グランドホテルにて本年度の活動を総括する「活動報告例会」を開催いたしました。本例会は、盛岡青年会議所運営規定に基づき、1年間の運動および事業をメンバー全体で共有することを目的として実施したものです。第1部では、各委員会の委員長がテーマ「一視同仁～笑顔が満ち溢れるもりおか～」に沿ってスピーチを行い、1年間の取り組みが地域にどのような前向きな変化をもたらしたのかを報告いたしました。第2部では、各委員会が作成したパフォーマンス動画を上映し、事業の成果や学びをより分かりやすく共有することができました。

今回の例会で得られた知見を来年度の運動へとつなげ、より良い地域づくりに努めてまいります。

2025年度 出向者名簿

❖ 公益社団法人日本青年会議所 (5名)		
国際グループ 国際共創会議	副議長	伊藤英佑
	小幹事	齊藤大輝
国際グループ JCIアカデミー委員会	委員	宮野洵弥
組織グループ LOM開発委員会	委員	照井淳史
総務グループ 渉外委員会	委員	鷺見保博
❖ 公益社団法人日本青年会議所 東北地区協議会 (3名)		
東北ゼミナール委員会	委員	高見謙輔
東北青年フォーラム運営委員会	委員	宇野聡一郎
総務広報委員会	副委員長	三浦滉大
❖ 公益社団法人日本青年会議所 東北地区岩手ブロック協議会 (20名)		
	会長	山内圭介
	運営専務	晴山敬俊
いわてJAYCEEアカデミー委員会	塾長	小田島賢太郎
	塾幹事	阿部周平
岩手の未来創造委員会	委員	小野寺竜
ブロック大会運営委員会	委員	村上千尋
連携推進委員会	委員長	高橋敬太
	幹事	福田和晃
総務広報委員会	委員長	内沢達也
	幹事	田村光宏
事務局	事務局長	照井淳史
	事務局次長	越戸奈津美
いわてJAYCEEアカデミー委員会	委員	宇野聡一郎
	委員	大森忍
	委員	越戸奈津美
	委員	今野彰士
	委員	作山直輝
	委員	鈴木翔太郎
	委員	千田友己
	委員	野中雄太



## 2025年度 入会者



日下 渉夢

イノベーションセブン株式会社



田村 凌空

株式会社いわてアスリートクラブ



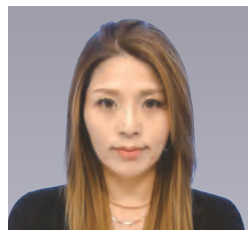
工藤 昭洋

三井住友海上あいおい生命保険  
株式会社 岩手生保支社



鈴木 大世

株式会社コネクト



田中 千裕

Lounge BAR CHIHIO



夏林 志成

株式会社カスタマーリンク



川村 和喜

株式会社ソニックジャパン



東 航平

有限会社メディワークス盛岡



小田島 剛

税理士法人小田島



石田 健太郎

ダンススクール Assets



岩泉 慎之介

一般社団法人  
いわてグローバルスポーツ



吉田 竜馬

炭火焼き・おでん ひととき



小沢 大富

川村商事有限会社



武田 城光

株式会社 VOLANTE

## 2025年度 卒業生



山内 圭介

株式会社カヴァーロ



田口 輝

有限会社 JJプランニング



照井 淳史

株式会社  
岩手ホテルアンドリゾート



加藤 巧寛

加藤総合企画株式会社



藤村 慶太

藤村慶太土地家屋調査士事務所



高橋 敬太

高橋けいた事務所



石井 優宇

株式会社日本デスコ



小野寺 竜

株式会社白ゆり



佐藤 志学

株式会社シリウス



越場 慎文

桜心警備保障株式会社



佐藤 陽一

2WAY株式会社



阿部 周平

有限会社内丸ビル





1月 新年交賀会



1月 1月通常総会



1月 京都会議



7月 岩手ブロック大会 in 奥州



8月 8月例会 盛岡さんさ踊り



8月 わんぱく相撲男子全国大会



2月 2月通常総会



2月 異業種交流会



3月 3月例会  
次世代育成事業



9月 東北青年フォーラム in 秋田



9月 もりおかえきまえマルシェ



9月 わんぱく相撲女子全国大会  
in 八戸



3月 第一回  
仮会員オリエンテーション



4月 4月例会  
もりおかの魅力向上会議



4月 わんぱく相撲  
女子全国大会誘致



9月 9月通常総会



9月 出向者連絡会議



10月 10月例会  
国際社会創造事業Ⅱ



5月 5月例会  
Touch the World ~笑顔の交流~



6月 6月例会  
わんぱく相撲盛岡場所



6月 ASPAC in ウランバートル



10月 OB 交流会



10月 全国大会



10月 第3回  
仮会員オリエンテーション



6月 羅東國際青年商會との  
姉妹JC交流



6~7月 さんさ踊り練習会



7月 7月例会 第2回仮会員  
オリエンテーション



11月 活動報告例会



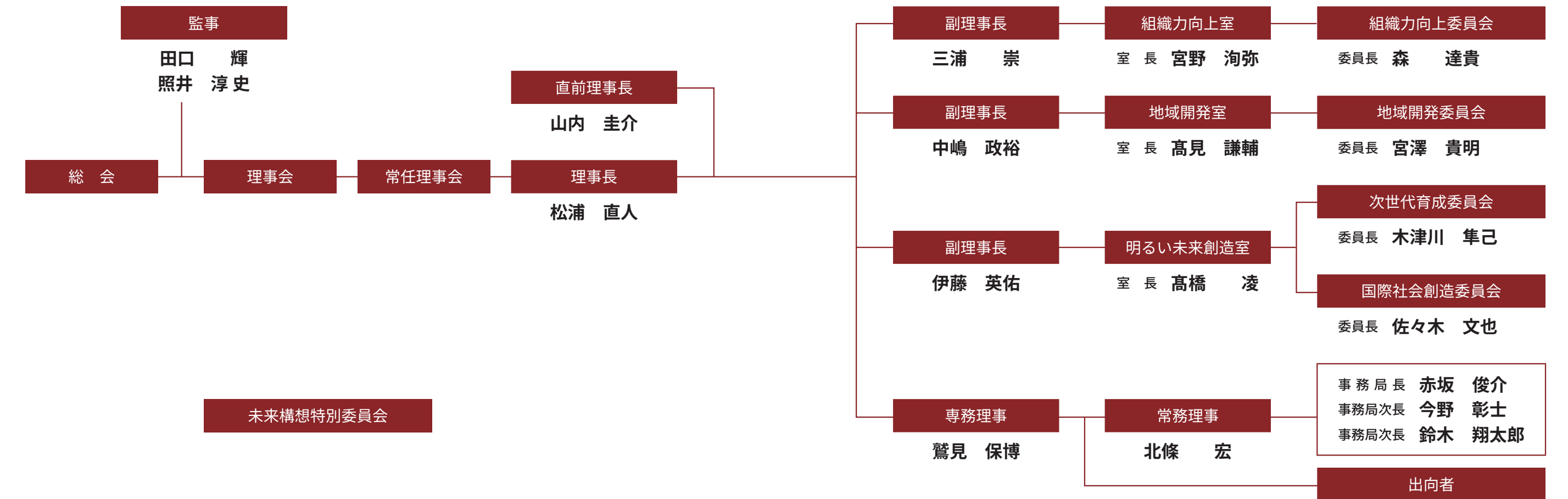
11月 世界会議 in チュニス









12月 12月例会 卒業式



## 2025年度 組織図



理事長	副理事長	副理事長	副理事長	専務理事	組織力向上室 室長
松浦 直人	三浦 崇	中嶋 政裕	伊藤 英佑	鷺見 保博	宮野 洵弥
					
地域開発室 室長	明るい未来創造室 室長	常務理事	組織力向上委員会 委員長	地域開発委員会 委員長	次世代育成委員会 委員長
高見 謙輔	高橋 凌	北條 宏	森 達貴	宮澤 貴明	木津川 隼己
					

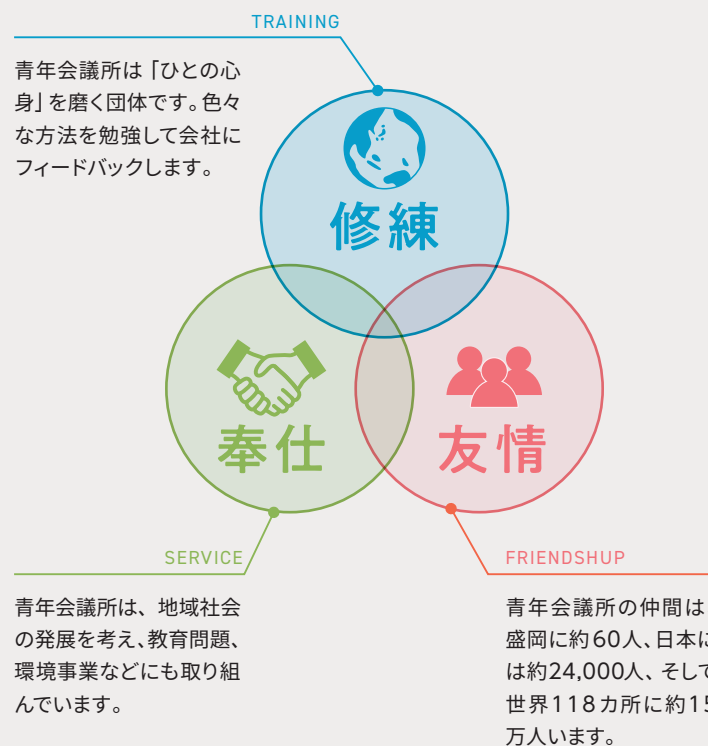
国際社会創造委員会 委員長	事務局長	事務局次長	事務局次長	監事	監事
佐々木 文也	赤坂 俊介	今野 彰士	鈴木 翔太郎	田口 輝	照井 淳史
					
直前理事長	出向理事	出向理事	出向理事	出向理事	
山内 圭介	晴山 敬俊	小田島 賢太郎	高橋 敬太	内沢 達也	
					



## 2026年度 入会案内

## 3つの信条

3つの信条「修練・奉仕・友情」のもと、よりよい社会づくりをめざし、地域の社会課題解決に積極的に取り組んでいます。



## 4つの機会

## 1 自己成長の機会

指導力開発・人間力開発の機会です。様々な研修プログラムや活動の中で自己成長の機会があります。

## 2 国際の機会

国際交流・国際貢献の機会です。JCI（国際青年会議所）のメンバーとして、世界会議やASPAC など、世界と関わる機会があります。

## 3 地域貢献の機会

社会開発・まちづくりの機会です。地域社会との関わりができ、社会奉仕活動をする機会があります。

## 4 ビジネスの機会

経済活動・経営開発の機会です。日本全国、世界各国の志あるメンバーと出会うことができ、新しいビジネスの機会があります。

JC(Junior Chamber = 青年会議所)とは、～明るい豊かな社会の実現～

**約24,000名以上の会員数** (日本:2024年3月現在)

JCは『修練』『奉仕』『友情』という3信条のもと、『明るい豊かな社会』の実現を理想とし、世界各国で活動しています。JCには品格のある青年であれば、人種、国籍、性別、職業、宗教の別なく、自由な個人の意志によって入会できますが、20歳から40歳までという年齢制限を設けています。また、JCの理事長をはじめすべての任期は原則的に単年度制であり、1年ごとに様々な役職を経験することで、会員は豊富なトレーニングの機会や実践経験を積むことができます。つまり、日常の活動の場を通して個々の能力をより良く開発し、さらにはまちの成長に繋がり『明るい豊かな社会』を築き上げるため市民意識変革運動を推進する団体、それがJCです。

## 2026年度 基本理念・基本方針

2026年度スローガン



一般社団法人盛岡青年会議所  
2026年度 第74代理事長

伊藤 英佑



**Take the Leap!**  
一步を踏み出し、未来をつくらう

## 基本理念

誰もがりのままの自分で一步を踏み出せる社会の実現に向けて、  
まず自らを受け入れ互いを認め支え合いながら、  
挑戦を応援し合う環境を広げ未来を切り拓く。

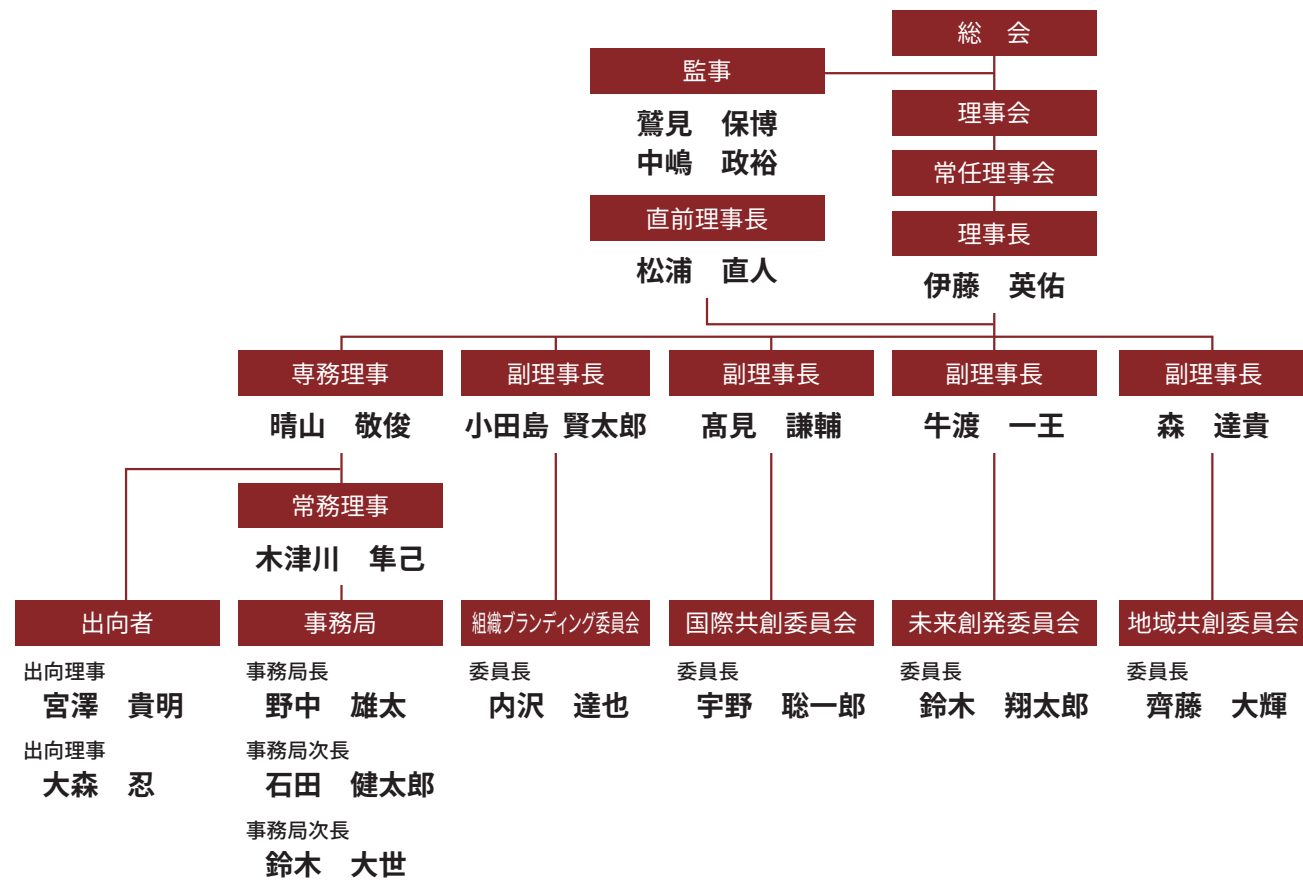
## 基本方針

多様な人と知恵をつなぎ、新たな価値を共創し地域の未来を切り拓く。  
次代を担う子どもや若者の挑戦が、地域の未来を照らし新たな可能性を育む。  
世界と地域を結び、価値観の違い越えて共に一步を踏み出す挑戦が国際的な共創を実現する。  
内に誇りを、外に共感を。参加の輪を広げもりおかの未来を創る。





## 2026年度 組織図



理事長	副理事長	副理事長	副理事長	副理事長	専務理事	常務理事
伊藤 英佑	森 達貴	牛渡 一王	高見 謙輔	小田島 賢太郎	晴山 敬俊	木津川 隼己
						
委員長	委員長	委員長	委員長	事務局長	事務局次長	事務局次長
齊藤 大輝	鈴木 翔太郎	宇野 聡一郎	内沢 達也	野中 雄太	石田 健太郎	鈴木 大世
						
監事	監事	直前理事長	出向理事	出向理事		
鷲見 保博	中嶋 政裕	松浦 直人	宮澤 貴明	大森 忍		
						

## 一般社団法人 盛岡青年会議所 2026年度 会員名簿

赤坂 俊介 (株)ホワイトベース	作山 直輝 盛岡ひかり法律事務所	南郷 徳英 (株)インベストエイト
石田 健太郎 ダンススクールAssets	笹川 亮輔 笹川登記・測量事務所	野中 雄太 (株)イシイ
伊藤 英佑 (株)盛岡総合ビルメンテナンス	佐々木 文也 (株)LIG	波紫 聖矢 (株)齊藤興業
岩泉 慎之介 (社)いわてグローバルスポーツ	杉澤 伸洋 (株)ヒラトヤ	晴山 敬俊 東阜石材(有)
牛渡 一王 (株)ホーム建設	鈴木 翔太郎 大宮神社	東航 平 (有)メディワークス盛岡 ロープ薬局
内沢 達也 うちざわ登記測量事務所	鈴木 大世 (株)コネクト	福田 和晃 ブルーアドバイザーズ(株)
宇野 聡一郎 盛岡KT歯科・矯正歯科	鷲見 保博 (株)博扇堂クリーニングセンター	北條 宏 (株)リスクパスターズ総合保険事務所
大森 忍 (株)岩手産業統計所	高橋 康介 高橋こうすけ事務所	松浦 直人 昭和レンタリース盛岡(株)
小沢 大富 川村商事(有)・(有)すノ家商事	高橋 凌 (株)アプローチ	三浦 滉大 (株)齊藤興業
小田島 賢太郎 (株)小田島アクティ	高見 謙輔 (株)広田薬品	三浦 崇 (株)カネマン
小田島 剛 税理士法人小田島	武田 城光 (株)VOLANTE	宮 慧 (有)アイドカ
川村 和喜 (株)ソニックジャパン盛岡支社	田中 千裕 Lounge BAR CHIHIO	宮澤 貴明 ナチュラルコム(株)
菊地 佳小里 (株)兼平製麺所	田中 洋希 (福)岩手県社会福祉事業団	宮野 洵弥 (株)東北工商
木津川 隼己 ブルデンシャル生命保険(株)	田向 康人 (株)志百家	村上 千尋 住友生命紫波支店
日下 涉夢 イノベージュセヴン(株)	田村 光宏 (株)田清	村山 出 ユニオン広研(株)
工藤 昭洋 三井住友海上あいおい生命保険(株)	田村 凌空 (株)いわてアスリートクラブ(いわてブルージャズ盛岡)	森 達貴 (有)シューズモリ
越戸 奈津美 (株)いーふらん	千田 友己 ソニー生命保険(株)	吉田 竜馬 炭焼き・おでん ひとき
今野 彰士 KON BUILD	中嶋 政裕 ピーロート・ジャパン(株)	米内 紘正 米内ひろまさ事務所
齊藤 大輝 (株)三協メディケア	夏林 志成 (株)カスタマーリンクス	米内 美穂 (株)真珠苑ホールディングス

### ご入会までの流れ

#### ●入会資格

- ①年齢 20 歳から満 39 歳まで
- ②盛岡広域圏に自宅または会社のある方
- ③青年会議所の趣旨に賛同して頂ける方

#### ●入会申込

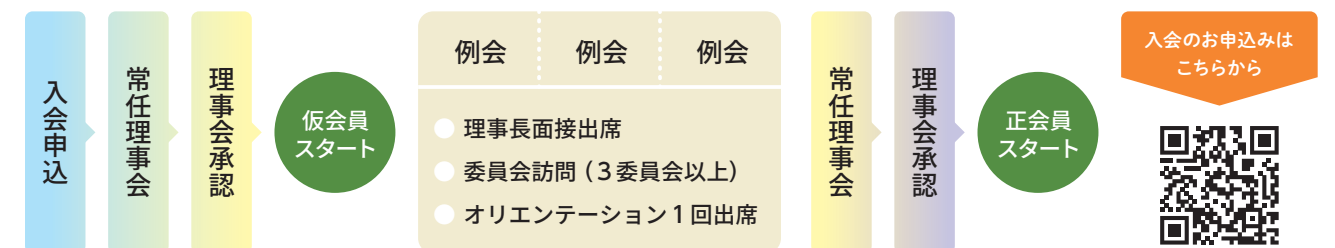
- ①入会申込書をご記入のうえ、**証明写真 2 枚** (カラー 5cm×5cm・男性はスーツ着用・女性は正装) と共に提出
- ②理事または JC 在籍歴 2 年以上の正会員 2 名の推薦

#### ●入会金と会費

- ①**仮会員費：10,000円/月**
- ②**入会金** (正会員として正式に入会を認められた時)：**30,000円**
- ③**年会費：120,000円** (分割可)

#### ●正会員承認までのSTEP

- 仮会員の期間に
- ①**理事長面接**
  - ②**例会** (月 1 回開催する例会に 3 回出席)
  - ③**委員会訪問** (3 委員会以上)
  - ④**オリエンテーション 1 回出席**
- ①～④の条件を全てクリアして頂き、理事会承認を経て正会員承認となります。



<https://www.moriokajc.org/nyuukaiannnai/>



ANNUAL REPORTは、  
WEBからでもご覧い  
ただけます。ブックマ  
ークをお願いします。



## アンケートへのご協力のお願い

今後のアニュアルレポート作成・発行の  
参考とさせていただく為右記の二次元  
コードからアンケートのご協力をお願い  
申し上げます。



一般社団法人盛岡青年会議所 組織ブランディング委員会

**JCI**  **Junior Chamber International Morioka**  
**一般社団法人 盛岡青年会議所**

〒020-0024 盛岡市菜園 2-6-6 スクエアテラス盛岡ビル 3F  
TEL : 019-651-3778 FAX : 019-654-4476  
URL <https://www.moriokajc.org>  
E-mail : [info@moriokajc.org](mailto:info@moriokajc.org)

